



ごみ分別アプリを配信しています

ごみの分別に関するお知らせを手軽に確認できるアプリ「廿日市市ごみ分別アプリ」を配信中です。ぜひ活用してください。

対応端末 iOS5.1.1以降 (iPhone版) AndroidOS4.0以降 (Android版)
ダウンロード方法 「App Store (iPhone版)」または「Google Play (Android版)」で「廿日市市 ごみ」と検索するか、次の二次元コードからダウンロードできます。

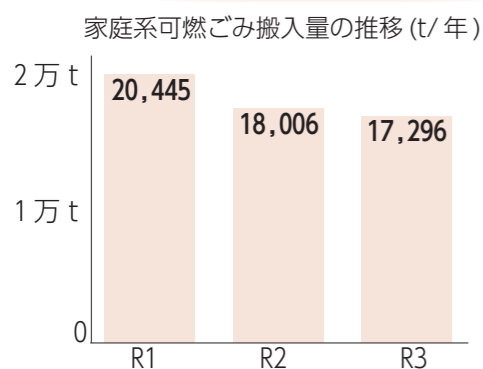
iPhone 版



Android 版



令和3年度のごみの量は減少



市民の皆さんのご協力により、令和3年度のごみ量は前年度比3%減少し、3万4258tでした。家庭系可燃ごみは前年度比4%減少し、1万7296tでした。家庭系可燃ごみの有料化から2年半が経過し、市民の皆さんのごみ減量化への取り組みが成果として表れています。

雑紙チャレンジ始めませんか？



資源化できる古紙類を可燃ごみに出していませんか？ お菓子などの紙箱、画用紙、ラップの芯などを雑がみとして資源ごみの日に排出すると可燃ごみの減量につながります。紙袋に入れ、中身が出ないようひもで十字にしぼり、資源ごみの日に出しましょう。

エネルギークリーンセンターで「かんたんおもちゃ修理のコツ」講座を開催します

はつかいちエネルギーセンターでリサイクル講座を開催します。10月は「かんたんおもちゃ修理のコツ」です。

とき 10月12日(水)14時～15時30分

ところ はつかいちエネルギーセンター(木村港南12の8)

※受付棟1階ロビーで受け付け

定員 10人(先着順)

参加費 100円

持ち物 こわれたおもちゃ、はさみ、ドライバ(プラス、マイナス)各一本

申込方法 はつかいちエネルギーセンターまで電話(☎205300)で

受付開始 10月3日(月)

手つかずの食品がこんなに！

食品ロス削減の市ホームページはこちら▼



右の写真は、可燃ごみに入れた手つかずの食品です。令和2年度に実施した家庭系可燃ごみの組成調査では、食べ残しや手つかず食品が全体の6・7%を占めており、家庭系可燃ごみ1万8006tのうち約1200tと推測されます。



Reduce

(リデュース・ゴミ減らそう)

Reuse

(リユース・再利用しよう)

Recycle

(リサイクル・再資源化しよう)

10月は食品ロス削減月間

問い合わせ

循環型社会推進課 ☎9133

スリーアール

3R推進月間

フードドライブの食品例



壊れたおもちゃを助けよう▼



「賞味期限」と「消費期限」



▲食品は手前から取りましょう

賞味期限とは袋や容器を開けずに、書かれた保存方法を守って保存していた場合に、この「年月日」まで、「品質が変わらずに美味しく食べられる期限」のことです。

消費期限とは袋や容器を開けないままで、書かれた保存方法を守って保存していた場合に、この「年月日」まで、「安全に食べられる期限」のことです。

「賞味期限」と「消費期限」の違いを理解して適切に美味しく食べましょう。

おもちゃの病院の受診を受け付けます

患者さん(おもちゃ)の治療を行う病院がやってきます。予約優先で10人まで受け付けます。

※ゲーム機などの電子機器やぬいぐるみの修理はできません

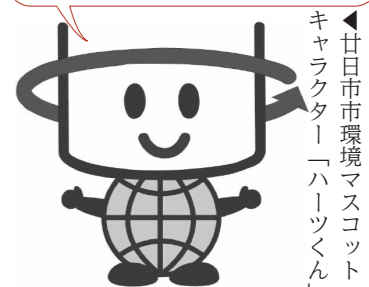
とき 11月5日(土)

ところ はつかいち環境フェスタ会場(市役所市民プラザ)生活環境課出展ブース

申込方法 生活環境課まで電話(☎9132)で。

申込締切 11月4日(金)

11月5日(土)・6日(日)にはつかいち環境フェスタを開催します



廿日市市環境マスコットキャラクター「ハーツくん」

フードドライブに参加してみませんか？

フードドライブとは、各家庭で使い切れない食品を集め、食品を必要としている団体へ寄贈する活動です。食品ロス削減のためにもぜひご協力ください。

とき 11月5日(土)・6日(日) 10時～15時

ところ はつかいち環境フェスタ会場(市役所市民プラザ)循環型社会推進課出展ブース

提供してほしい食品の例
 米、缶詰などの保存食品、インスタント食品、乾麺など(調理なし、または簡単な調理で食べられるもの)

注意点
 ・賞味期限が1カ月以上あるもの(賞味期限が令和4年12月6日(火)以降)
 ・未開封のもの
 ・常温保存ができるもの